

作成日 : 2021/4/12

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品名称 : 鉄カトレプラス
供給者の会社名称 : O A T アグリオ株式会社
住所 : 東京都千代田区神田小川町 1-3-1 NBF 小川町ビルディング 8 階
担当部署 : 品質保証室
電話 : 088(684)0220
電子メールアドレス : sds_info@oat-agrio.co.jp
緊急連絡先電話番号 : 03(5283)0251 (本社)
使用上の制限 : 肥料
整理番号 (SDS No.) : OAT20039α1-1

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

金属腐食性化学品 区分 1

健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性 区分 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分 2A

生殖細胞変異原性 区分 2

生殖毒性 区分 1B

特定標的臓器毒性 (単回ばく露) 区分 2 (中枢神経系、消化管)

特定標的臓器毒性 (反復ばく露) 区分 2 (呼吸器、神経系)

*上記で記載がない危険有害性は、分類対象外、区分に該当しない、または分類できない

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語

警告

危険有害性情報

H290	金属腐食のおそれ
H315	皮膚刺激
H319	強い眼刺激
H341	遺伝性疾患のおそれの疑い
H360	生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
H371	中枢神経系、消化管の障害のおそれ
H373	長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器、神経系の障害のおそれ

注意書き

【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202)
他の容器に移し替えないこと。(P234)
ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。(P260)
取扱い後手及び眼をよく洗うこと。(P264)
この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。(P270)
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。(P280)

【応急措置】

- 皮膚についた場合：多量の水と石けんで洗うこと。(P302+P352)
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)
- ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。(P308+P311)
- ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。(P308+P313)
- 気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。(P314)
- 皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。(P332+P313)
- 眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。(P337+P313)
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。(P362+P364)
- 物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。(P390)

【保管】

- 施錠して保管すること。(P405)

【廃棄】

- 内容物／容器は知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する（地方公共団体が処理を行っている場合には、地方公共団体に委託する）こと。(P501)

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名 : 液体微量要素複合肥料

成分名	含有量 (%)	CAS No.	化審法番号	安衛法番号
非公開	非公開	非公開	非公開	非公開

* 各法令通知対象に該当する成分情報については『15. 適用法令』に記載。

4. 応急措置

吸入した場合

ミストを大量に吸引した場合は、安静にし、新鮮な空気の場所に移し、医師の診察をうける。

皮膚に付着した場合

水及び石鹼水で洗い流す。
刺激が続く場合は医師の診察をうける。

眼に入った場合

清浄な水で十分洗い流す。眼をこすらない。
痛みや異常が続く場合は眼科医の診察を受ける。

飲み込んだ場合

大量の水を飲ませた後、吐かせる。
医師の診察をうける。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

液体であり、本品が直接火災を起さない

使ってはならない消火剤

液体であり、本品が直接火災を起さない

火災時の特有の危険有害性

加熱により容器が爆発するおそれがある。
容器が熱に晒されているときは、移さない。

特有の消火方法

消火作業は、風上から行う。
火災時には初期消火に努める。
周辺火災の場合であって、何ら危険性を伴わない場合には、火災延焼のない安全な場所に移動させることが望ましい。移動できない場合には、容器とその周辺に散水して冷却させる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

必ず呼吸用保護具及び状況に応じた適切な保護具を着用し、安全な距離から消火作業を行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

できるだけ保護具をつけて作業を行う。

環境に対する注意事項

- なるべく河川等への流入を避ける。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材
- 出来るだけ拭き取り、回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

的確な工業衛生管理に則った換気及び清掃を実施する。

安全取扱い注意

換気の良いところで眼や口に入らないよう保護具を用いる等注意して取り扱う。

接触回避

皮膚や眼との接触は避ける。

作業後には直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをする。

衛生対策

作業着は再使用前に洗濯する。

保管

安全な保管条件

風通しが良く、直射日光をさけ、雨水等のかからない冷暗所にて保管する。

開封後は出来るだけ速やかに使うこと。開封した状態で保管する場合は、開封口をとじ、容器を立てて保管すること。

乳幼児・子供もしくは犬等の動物が触れないよう留意する。

希釈した液は使い切る。

安全な容器包装材料

国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度及び許容濃度

設定されていない。

設備対策

特別な設備対策は要しないが、屋内で使用する場合は換気を行う。

保護具

できるだけ保護メガネ、保護マスク、保護手袋を利用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態

液体

色

黄緑～茶 (希釈時は薄黄色～無色)

臭い

微臭

沸点又は初留点及び沸点範囲

データなし

可燃性

なし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

データなし

引火点

データなし

自然発火点

データなし

分解温度

データなし

pH

2～3

動粘性率

データなし

蒸気圧

データなし

密度及び/又は相対密度

1.1～1.2 g/cm³

相対ガス密度

データなし

粒子特性

データなし

※ 数値は製品の代表値である。

10. 安定性及び反応性

反応性

酸性液体のため、アルカリ性のもとと混合しない。

化学的安定性

通常範囲では安定。

危険有害反応可能性

データなし

避けるべき条件

保管時の、高温多湿、雨等の水分、火気。

混触危険物質

アルカリ性の物質

危険有害な分解生成物

データなし

11. 有害性情報

急性毒性

区分 4、区分 5 の物質を含むが、製品として ATEmix が>5000 のため、区分に該当しないとした。

皮膚腐食性/刺激性

金属腐食性を持つため、区分 2 とした。

また、区分 2 の物質を含むが、製品中の総濃度は区分 2 の基準（10%）を下回っている。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

金属腐食性を持つため、区分 2A とした。

また、区分 1、区分 2 の物質を含むが、製品中の総濃度が区分 2 の基準（10%）を下回っている。

呼吸器感作性

データなし

皮膚感作性

区分 1 の成分を含むが、濃度が 1% 以下のため、区分に該当しないとした。

生殖細胞変異原性

区分 2 の成分を 1% 以上含むため、区分 2 とした。

発がん性

区分 2 の成分を含むが、濃度が 1% 以下のため、区分に該当しないとした。

生殖毒性

区分 1B の物質を 0.3% 以上含むため、区分 1B とした。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

中枢神経系、消化管については、区分 1 の物質を 1% 以上 10% 未満含むため、区分 2 とした。

その他の系については、1% 以下のため、区分に該当しないとした。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

呼吸器、神経系については、区分 1 の物質を 1% 以上 10% 未満含むため、区分 2 とした。

その他の系については、1% 以下のため、区分に該当しないとした。

誤えん有害性

データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

データなし

残留性・分解性

土中で殆ど生分解される。

生態蓄積性

データなし

土壤中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

データなし

13. 廃棄上の注意

大量の廃棄は廃棄物処理免許を有する処理業者に処理を委託する。

少量の場合には使い切る。

空容器（袋など）は各自自治体等で決められたルールに従う。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号 : 3264
品名 (国連輸送名) : その他の腐食性物質 (無機物) (液体) (酸性のもの)
国連分類 : 8
容器等級 : III

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法、航空法

15. 適用法令

肥料の品質の確保等に関する法律	登録番号 生第 101454 号 (「鉄力あくあ FT1」)
毒物及び劇物取締法	非該当
労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 第 1 号、第 2 号・別表第 9) : 鉄水溶性塩 ($\geq 1\%$)、マンガン化合物 ($\geq 1\%$)、ほう酸化合物 ($\geq 0.1\%$)、モリブデン酸化合物 ($\geq 0.1\%$)
化学物質管理促進法 (PRTR)	非該当
船舶安全法	腐食性物質 (クラス 8)
航空法	腐食性物質 (クラス 8)

16. その他の情報

- ・ 本製品は、肥料成分として、安衛法、毒劇法、PRTR 法に記載されている水溶性鉄、水溶性亜鉛、水溶性銅、水溶性マンガン、水溶性モリブデン酸を含んでいますが、各法律の基準以下の濃度です。
 - ・ 企業秘密の点から、本書にはその成分を概要的な表現に留めています。
- しかしながら、公的機関の要請等によっては、一定の条件下でこれらの情報を開示いたします。

参考

鉄カトレプラスの SDS (愛知製鋼株式会社、2021 年 1 月 1 日改訂版)

連絡先

製品に関する問い合わせ先 : コールセンター 0120-210-928

責任の限定について

安全データシートは、化学製品を安全に取扱うための参考情報として、当該製品を取扱う事業者には提供されるものであって、安全を保証するものではありません。ここに記載された数値は、規格値や品質を保証する数値ではありません。

この安全データシートは、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、当該製品に関する全ての情報が網羅されているわけではありません。記載内容は当該製品の一般的な取扱いについて記載したものです。

当該製品を取扱う事業者は、個々の取扱い等の実状に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、この安全データシートを活用されるようお願いいたします。